図書室から Book Guide

おうさまがかえってくる100びょうまえ

柏原佳世子/作

えほんの社
1540 円（税込）

王様がお出掛けしたある日、三人の家来たちは王様の部屋でやりたい放題、散らかし放題。キレイで、豪華で、広い王様の部屋で遊ぶのって楽しい～！

ところが王様がお城に戻ってくるのが見えちゃったから、さぁ大変！

「王様が帰ってくるぞー帰ってくるまで…あと百秒だ！　百秒で部屋を片付けろーーーー！！」

始まる家来たちのダイナミックなお片づけ。刻々とカウントされていく秒数にハラハラドキドキ！　はたして、王様が戻ってくるまでに部屋をキレイに片付けられるかな！？

ながい鬼

1月1日

編集後記 115

◆鬼の伝説は日本全国数多い。そして日本の昔話の「桃太郎」や「一寸法師」にも登場し、大概は悪役だ。鬼は「赤」か「青」と思ってたが、どうやら違っていて、加えて「緑」「黄」「黒」の５色いるらしい。どうやら鬼は煩悩の化身で、煩悩は 108 あって、その中でも「瞑想修行を妨げる５つの煩悩」を代表しているようだ。

◆鬼の代表的存在は、何といっても「なまはげ」ではないだろうか。秋田の男鹿半島に伝わるあの「なまはげ」のしきたりである。この鬼は決して悪くないのである。「悪い子はいねかあ～　なまけもんはいねか～」と言いながら村を廻り、寒い寒いと言いながら炬燵にばかり潜り込んでいる怠け者をはぐ、つまり「なまはげ」だそうだ。秋田の寒さは半端ではないし、囲炉裏や暖房器具が炬燵しかなかった時代に、子どもたちに元気で外で遊んでほしいという気持ちがあったに違いない。そして子どもたちは怖かったに違いない。「うぉ～、悪い子はいねか～」蝋燭の明かり程度で薄暗く見えにくい状態で、悪い子と言われて身に覚えがなくても、泣き叫んでしまうだろう。手には恐ろしい包丁と、洗い桶を持つという演出だから、今でも泣き叫んでしまうだろう。だが、「なまはげ」にはしきたりがあるらしい。それは、家に上がる前に７回四股を踏み、お膳に着く前に５回四股を踏み、さらに立ち上がって３回四股を踏むという習わしだ。四股を７・５・３と踏むことは、その家の弥栄を願い、子どもたちの成長を願い土を固めるために行うという。

◆そんな「なまはげ」も、今、変わり始めているという。子どもをむやみに泣かすのは良くないという意見と、人様の家に上がり込んでプライバシーが守られないという意見によって、やさしい鬼が出現し、希望しない家には廻らないという。はたで見ていると「伝統ある民間風習」でよいと思うのだが、当事者になれば違うのかもしれない。

◆そういえば、我が幼児クラブでの出来事を思い出した。10 年くらい前の節分の時である。「今年は何人の子が泣くだろう」と鬼は怖いものだと思い、そしてみんながぶつける豆でやられてメデタシ、メデタシとなる算段だった。次の週、あるママから「うちの子、赤を見ると泣き出すです。どうやらよっぽど怖かったようで、赤を見るとトラウマのように泣き出すんです。」と言われた。私たちのユニフォームもあかい屋根にひっかけて赤い服で、案の定泣き出されてしまった。ママは楽しかったし良かったと言ってくれたが、肝心の子どもがトラウマになっては問題だ。しばらくの間、赤い服は着るのをやめたことを覚えている。そのトラウマも一年経たず消えていたが、伝統ある風習などとは言っていられない出来事だった。

針山直幸

NPO Akaiyane
特定非営利活動法人　あかい屋根
NPOあかい屋根広報紙
ひまわり
発行：特定非営利活動法人 あかい屋根 ひまわり編集部
044-976-0444
第558号
2023/ 2 / 1

こぶんフェスティバル

こどもスタッフ大活躍

1/15（日）フェスティバル当日は生憎の天気でしたが、延べ 150 名以上の来場があり、館内は活気に溢れていました。

ひときわ人気だったのが子ども達の運営する３店舗（ポップコーン屋・くじびき屋・アクセサリーショップ）で、２時間半の間、客足は途絶えることなく、終了時間一杯まで「いらっしゃい！いらっしゃい！」と元気な声が飛び交っていました。他にも、地域の方のボランティアによるスクイーズ工作・焼き鳥屋さん・ゲームコーナーも大盛況でした！

沢山お客さんが来てくれたので、スタッフの子どもたちには、事前に約束していた通り「こ文にほしい玩具を決めて買おう♪」と伝えると、疲れた顔がぱっと輝いたのでした(^^♪

2面に続く

1面より

2月のおしらせ

新型コロナの感染状況で、変更・中止もあります

菅生こども文化センター

044-976-0444

2月1・8・15・22日(水)　15：00～16：30
あそべば　誰でも　無料
1日　ペットボトルボーリング
8日　バレンタインハートバッグ
15日　逃走中
22日　頭脳王決定戦

2月17日(金)　10：45～11：30
がおがおらんど　～新聞紙であそぼう～
未就学児親子　無料

2月19日(日)　10：30～12：.30
のびのびサンデー　～ぽかぽかサンキャッチャー～
無料　要申込25名　受付開始1/22～

2月25日(土)
ONE ぱーく　詳細はお問い合わせください。

2月の工作
いつでも工作　すがお工房
ラッピングタイ
誰でも　無料
やりたい時に、スタッフに声をかけて下さい。

蔵敷こども文化センター

044-977-2577

2月1・8・15・22日(水)　15：00～16：30
ぞうさんのポケット　誰でも　無料
1日　忍者くらぶ
8日　サッカー大会
15日　Zoshiki(ぞうしき)シューター2
22日　天下大会

2月9日(木)　10：30～11：30
ちっちゃいもんくらぶ　～おやこのいばしょ～
未就学児親子　無料

2月16日(木)　10：30～11：30
うりっこひろば　～かげっこ～
未就学児親子　無料

2月23日(木・祝)　10：00～12：30
ゆるっこ家　清ちゃんの染物教室
持参したTシャツを染めます。綿100%推奨
300円　※中学生以上400円　誰でも
15名　申込1/28～2/11

2月の工作
いつでも工作　ぞうしきクラフト
テトラポットストラップ
誰でも　無料
やりたい時に、スタッフに声をかけて下さい。

やってみたいな あんなこと こんなこと

菅生・蔵敷こども文化センターでは、いつでも「やってみたいこと」を募集し、そして反映をしています。本紙1面の「こぶんフェスティバル」も子どもたちの「お店屋さんをやってみたい」という意見からでした。菅生の「ONE ぱーく」や「あそべば」、蔵敷の「ぞうさんのポケット」など、あらゆる場面を通して、皆さんの意見を聞いて、事業を計画しています。

どんなに小さなことでも構いませんので職員に呟いてみてください。きっと実現してくれますよ。特にこの時期、年度末は新しい事業を考える期間なのでおすすめです。職員はきっと手ぐすねを引いて皆さんの意見を待っていることでしょう。

NPOあかい屋根は、地域の皆さんと共に、事業を作っていく団体です。だからこそ、NPOで運営しているのです。

各こども文化センターにある企画会議・運営協議会は皆さんの意見を伺い反映していく場ですが、それ以外でも皆さんの「呟き」を大切にしています。諸般の事情で今すぐ実現できなくても、いつしか実現できる。あなたの呟きを・・・。

3月のおしらせ

新型コロナの感染状況で、変更・中止もあります

菅生こども文化センター

044-976-0444

3月1・8・15・22日(水)　15：00～16：30
あそべば　誰でも　無料
1日　けはい切り選手権
8日　菅生シューター
15日　きらきらくるくるレインボー
22日　お別れ球技大会

3月17日(金)　10：45～11：30
がおがおらんど　～フォトフレームを作ろう～
未就学児親子　無料

3月19日(日)　10：30～12：.30
のびのびサンデー　～桜のガーランドでお花見気分～
無料　要申込25名　受付開始2/19～

3月25日(土)
ONE ぱーく　～計画中～

3月の工作
いつでも工作　すがお工房
ふわふわアニマル
誰でも　無料
やりたい時に、スタッフに声をかけて下さい。

蔵敷こども文化センター

044-977-2577

3月1・8・15・22日(水)　15：00～16：30
ぞうさんのポケット　誰でも　無料
1日　ドッジビーPK
8日　忍者クラブ
15日　ぞうしきパーティー第一弾
22日　ぞうしきパーティー第二弾

3月9日(木)　10：30～11：30
ちっちゃいもんくらぶ　～おやこのいばしょ～
未就学児親子　無料

3月23日(木)　10：30～11：30
うりっこひろば　～うりっこパーティー～
未就学児親子　無料

3月の工作
いつでも工作　ぞうしきクラフト
ミニガーランド作り
誰でも　無料
やりたい時に、スタッフに声をかけて下さい。